おかやま
ミツバチプロジェクト
桃太郎ハニーラボ

おかやまミツバチプロジェクト
桃太郎ハニーラボ

都市養蜂を通じて、自然環境との繋がりを考え
「環境教育」「緑化促進」「地域振興」の取組みを進める

この世からミツバチがいなくなると
4年後に人類も滅亡する

ミツバチは、蛍 蝶･鮎など環境汚染地域では生きていけない**「環境指標生物」**です。
ミツバチの受粉行動は私たちが食べている約1/3の農作物に貢献しており
アインシュタインが「この世からミツバチがいなくなると4年後に人類も滅亡する」という言葉どおり
ミツバチは農作物の実りには欠かせない存在で、私たちの生活に強く結びついています。

この度始めるおかやまミツバチプロジェクトは、単なるブームとしての蜂蜜作りではなく、
生物多様性の保全と生態系サービスの再生を目的とした**「環境教育」**、周辺の緑化啓発緑化活動を行う
「緑化促進」、採取した蜂蜜を使った地域ブランドの開発による**「地域振興」**を主な活動とし、
SDGｓの開発目標11（住み続けられるまちつくりを）・13（気候変更に具体的な取り組みを）・15
（陸の豊かさを守ろう）を主な目的とします。

「都市養蜂」をご存知ですか？

ヒートアイランド現象や地球温暖化が進む中、都市部のビルの屋上で養蜂を行う「都市養蜂」は、都市の緑化や生物の多様性を守ることにつながるだけでなく、さまざまな社会課題を解決する方法として世界中に広まっています。

養蜂にはまり独自ブランドまで立ち上げた　デビッドベッカム

ミツバチが好きになりすぎた
アンジェリーナ・ジョリー

日本では「銀座ミツバチプロジェクト」が先駆け。
岡山県では？

「都市養蜂」の日本での取り組みは、2006年から始まった「銀座ミツバチプロジェクト」を先駆けに、札幌・仙台・名古屋・梅田・福岡をはじめ、既に100を超える地域での取り組みが進んでいました。

実は岡山県は、全国で養蜂戸数が4番目に多く、養蜂組合数も大変多い養蜂の盛んな県です。

この度立ち上げた「おかやまミツバチプロジェクト桃太郎ハニーラボ」は、都市養蜂としての取り組みは岡山県初で、「銀座ミツバチプロジェクト」と提携、県北の大手養蜂企業からのご支援、SDGｓの取り組みに積極的な「岡山大学」、緑化推進の取り組みで「ＪＡ晴れの国おかやま」との連携で2022年3月24日に立ち上げました。

＜プロジェクト体制図＞

・環境教育センター「アスエコ」（岡山県）
・岡山ESD推進協議会「岡山ESDプロジェクト」（岡山市）
SDGｓの取り組み団体
農林水産省
中四国農政局
新たな連携
地域住民
学生
サポーター
見学会・活動参加・ボランティアでの取り組み
丸田産業株式会社
運営主体
せとのわ
運営サポート
岡山大学
OKAYAMA UNIV.
生態系研究
JA岡山中央会
OKAYAMACHUOKAI
蜜源サポート
TENMAYA
商品開発サポート
販売
TENMAYA HOTELS & RESORTS
SETOUCHI
KOJIMA HOTEL
Tenmaya Hotels & Resorts
The Hotel Limani & Spa
商品開発サポート
販売
天満屋ハートネット
製造補助
岡山県養蜂
組合連合会
加盟組織
※2023年1月1日より
正式加盟
養蜂サポート
GINPACHI
銀座ミツバチプロジェクト
おかやまミツバチ
プロジェクト
顧客
to B
to C
岡山県ビル
協会
屋上緑化の取り組み

「おかやまミツバチプロジェクト桃太郎ハニーラボ」
運営主体　丸田産業㈱について

丸田産業（株）は、天満屋グループの中核に位置する事業持ち株会社で、不動産賃貸業・建物総合保守管理業・携帯電話保守管理業・モビリティサービス業・フードサービス業などを展開しています。

グループ企業として、百貨店の天満屋、天満屋ストアを中心に、人材派遣業・ICT事業・建築イベントサービス業・ホテル事業・ゴルフ事業含め30以上の事業を岡山県を中心に展開しており、1829年の創業以来今年で193年の歴史があります。

主なグループ企業のロゴ

TENMAYA

HAPPY TOWN TENMAYA

TENMAYA HAPPY'S

Happy Mart

CAREER PLANNING

OEC株式会社

iii@oec

TCC

SANYO SAFETY

株式会社山陽セフティ

株式会社コーセイカン

天満屋トラベル

天満屋レンタカー

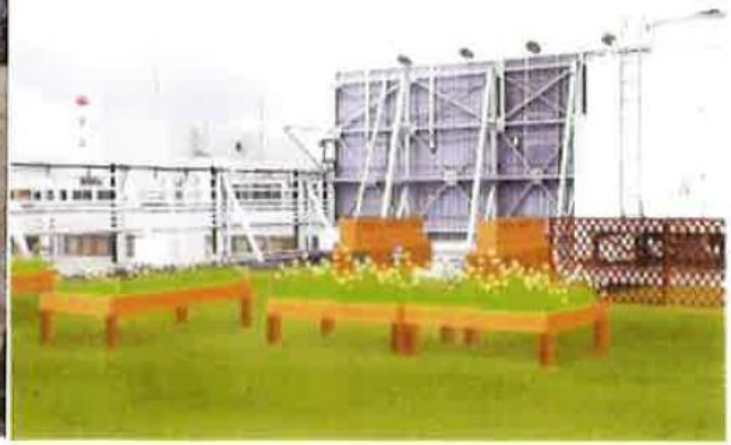
TOIGAOKA 東見が丘マリンヒルズゴルフクラブ

立上げの拠点

第一セントラルビル2号館　（岡山市北区本町6-30）

右奥のビル屋上

立上げ以前の屋上写真



立上げ時イメージ

養蜂場のビフォーアフター

◆　殺風景なビルの屋上が養蜂場と農園に様変わりしました。

ラボのビフォーアフター

◆　昔の喫煙場が「桃太郎ハニーラボ」の拠店になりました。

蜂放式　2022年3月24日（木）　＊ミツバチの巣箱を開け活動の始まりです。

巣箱4箱　西洋ミツバチ約5万匹からスタートしました。
当日は、岡山神社の宮司によるお祓いの後、関係者30名と多くのマスコミの取材がありました。

蜂放式の様子

多くのマスコミにも取りあげられました

銀座ミツバチプロジェクト理事長の田中様（左）と私

初採蜜　2022年4月25日（月）　＊5枚の蜜枠から5キロのミツバチが採れました。

当日は、NHK含めテレビ5社全てと新聞社、専門誌の方から取材があり、100名を超える方の見学がありました。

ギンパチ田中様の指導のもと、蜜枠を取り出し密蓋を切り取り遠心分離機で回すと、とても濃厚なハチミツが絞れました。

一匹のミツバチが一生かけて集めるハチミツの量は、スプーン一杯の僅か2~3グラムですが、
「おかやまミツバチプロジェクト」では、４月末から７月末までの８回の採蜜で当初計画の２倍以上
約340キロの大変甘いハチミツが採れました。

採蜜状況				
	採蜜日	採蜜量	糖度	水分
1回目	4月25日	5キロ	82度	17%
2回目	5月11日	17キロ	83度	16%
3回目	5月22日	52キロ	83度	16%
4回目	5月29日	74キロ	82度	16%
5回目	6月8日	84キロ	81度	17%
6回目	6月18日	32キロ	82度	18%
7回目	7月3日	46キロ	80度	18%
8回目	7月25日	31キロ	79度	19%
合計		341キロ		

何故か・・・

幾つかの理由を研究した結果、以下の４点が分かりました。

①岡山県は「ハレの国」でもあり、特にミツバチが採蜜する時期、晴れの日が多かった。

②屋上は、地面より湿度が少ないことが分かった。

③ミツバチが一番活動する3月末～７月末まで、シーズン折々の上質な蜜源となる花があった。

④ミツバチが採蜜に飛ぶ周辺３キロ圏内に、農薬をつかった農作物がなかった。

その他、養蜂家の先生によると、ミツバチは初めての場所では、頑張って採蜜をするという事、
また、途中に女王バチがいなくなったことがあり、ミツバチが減った時に食べるハチミツが多く溜まったという事も大量に採れた原因のようです。

商品化　2022年5月28日から「おかやまハニー」として発売を始めました。

◆ 90ｇ瓶入り1,080円と180ｇ【ヒノキの木枠入り】4,000円の二種類を化粧箱入りも作り発売

木枠は丸太生産日本一の岡山県産ヒノキの間伐材と廃材を利用して伝統工芸の組子の技術で作りました。

＜販売場所＞
・ 天満屋岡山本店地下１階「岡山贔屓」コーナー
・セントラルビル1号館１FとB1の直営喫茶店内

・天満屋ネットショップでも販売

NET SHOP TENMAYA

商品化

8月2日にマスコミ向けに商品発表会を行い「おかやまハニー」を使ったコラボ商品も発売しました。　（8月3日ハチミツの日に合わせて開発をしました！）

おかやまハニーナッツ
（せとうち児島ホテル）
岡山天満屋地下1F「岡山縣屋」せとうち児島ホテル

おかやまハニー
キャラメルパウンドケーキ
（ホテルリマーニ）
岡山天満屋地下1F「岡山縣屋」ホテルリマーニ

おかやまハニーパンケーキ／
おかやまハニートースト
（gram岡山天満屋店）
gram岡山天満屋店　※店舗限定メニュー

おかやまハニ 白桃レモンソルベ
（ホテルリマーニ）
ホテルリマーニ　※店舗限定メニュー

源吉兆庵さまとの取り組みの商品と岡山天満屋にできたヨーグルトの売り場 ☞

おかやまハニー＆レモンヨーグルト
（ヨーグルト フォーシーズンズ）
岡山天満屋地下1F「ヨーグルト フォーシーズンズ」

＜環境教育について＞

「都市養蜂」の目的の一つに生物多様性の保全と生態系サービスの再生、持続可能な社会の実現に向けた取り組み

＜岡山大学との連携＞

＜高校生との勉強会＞

＜熱心な小学生と親御さま＞

＜農政局の方との連携の可能性＞

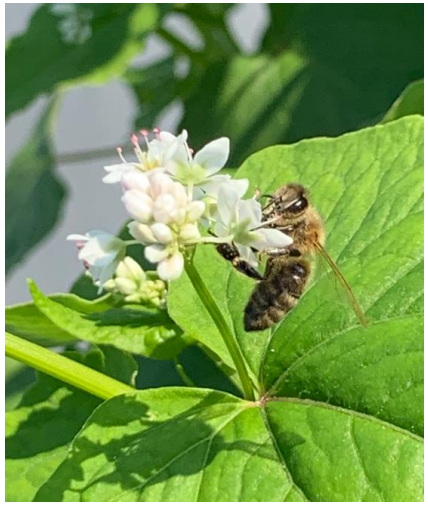
＜大盛況だったギンパチ田中様の講演会のチラシ＞

屋上の空いたスペースに、屋上緑化の一環で花を植えました。

＜巣箱を囲む花はJA晴れの国おかやま様から＞

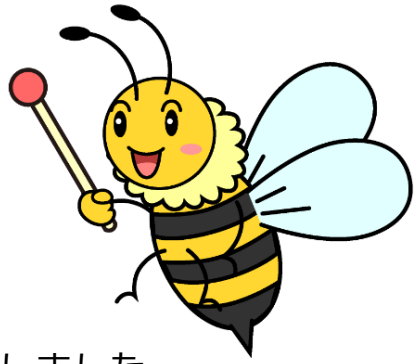
＜蕎麦を植えました＞

＜花に喜んで語り合うミツバチとアゲハ蝶＞



＜蕎麦の花にはテントウムシや働きバチが＞

ミツバチについての疑問にお答えします。



①おかやまミツバチプロジェクトのミツバチは、どこから来たの？

広島県の養蜂家の方から４群（箱）購入しました。

②1箱に何匹くらいのミツバチがいるの？

1箱に約2万匹のミツバチがいます。スタートは4箱で約5万匹程度からスタートしました。

③働きバチ、女王バチ、オスバチは、何をしているの？

働きバチは全員メスで、女王バチは1群1匹しかいません。オスバチは約1割いますが、蜜を集めてくるのは、働きバチのメスです。　働きバチの一生は、僅か一カ月程度で最初の３週間は、巣の掃除や子育てをし、最後の１週間で蜜を集めてきます。
女王バチは、約２～３年生きることができ、毎日2000個近い卵を産みます。
オスバチは、交尾だけの為に存在し、交尾ができなかったオスバチはシーズンが終わりに近づくと巣の外に追い出されてしまいます。

④ミツバチは怖くないの？

ハチにも、色々な種類のハチがいますが、ミツバチは自分から襲う事は先ずありません。
身の危険を感じたら刺しますが、刺すと死ぬのでまさしく必死の抵抗です。
また、屋上での養蜂の場合、ミツバチは街路樹の高い花に採蜜に行くので、人の歩く高さまで降りていくことは、少ないのです。

⑤ももラボの活動をもっと知りたいのですが？

インスタで「おかやまミツバチプロジェクト」の活動報告をUPしています。
先ずは、検索して頂き宜しければフォローをお願いします。

ももラボで飼っているのは、全て西洋ミツバチです。

**中央の大きいのは
オスバチ**

**一群に一匹しかいない
女王バチ**

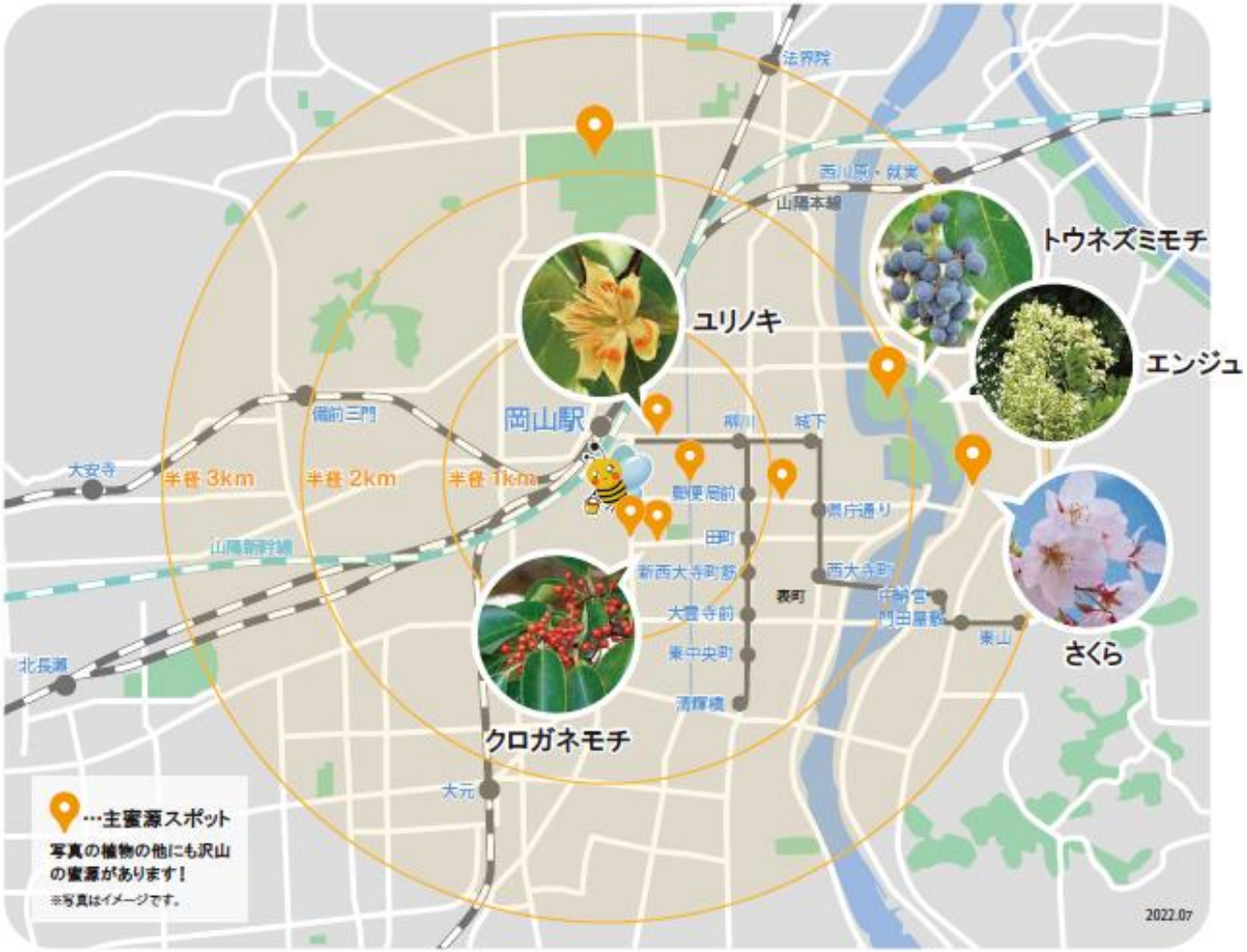
**キリリと締まった顔つきの
働きバチ（メスバチ）**

**可愛い顔をした
オスバチ**

ミツバチはどこから蜜を集めてくるのでしょう？

西洋ミツバチ行動範囲

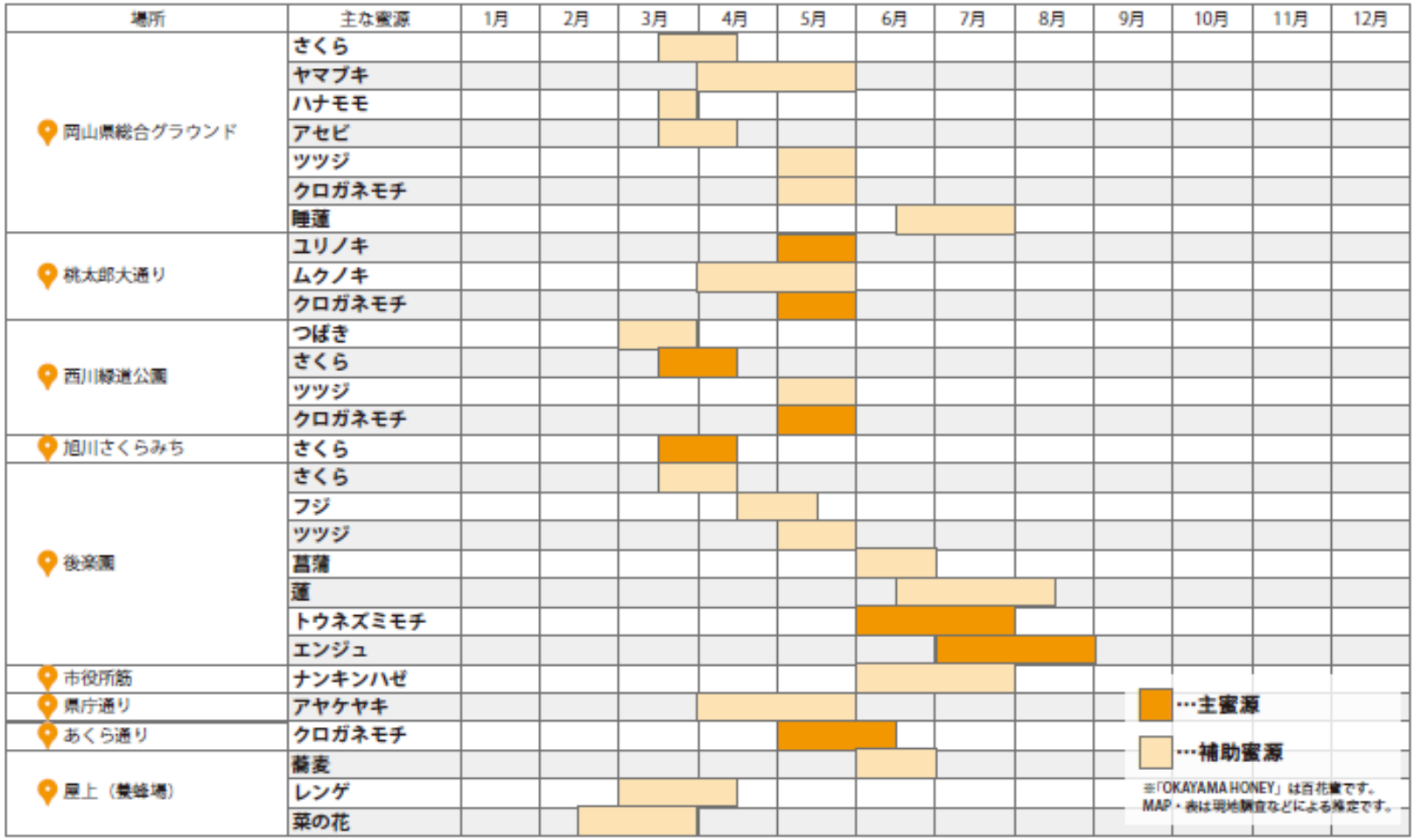
巣箱から半径2～3kmを移動し、街路樹や季節の
花々から甘い蜜を集めてビルの屋上に戻ってきます。



ミツバチはどこから蜜を集めてくるのでしょう？

シーズン別の主な蜜源

3～4月は、後楽園・旭川さくらみち・西川緑道公園の「さくら」
5～6月は、桃太郎大通りの「ユリノキ」・アクラ通りの「クロガネモチ」
7月は、後楽園の「エンジュ」「トウネズミモチ」が主な蜜源です。
　＊あくら通りの「あくら」は、岡山市木でもあり、別名が「クロガネモチ」です。



ミツバチは農作物の受粉には欠かせない存在

都市部での生態系の循環

都会では花粉を媒介する昆虫が少なく、受粉機会を失ったままの樹本がたくさんあります。
ミツバチは受粉や結実を助けます。

ミツバチの受粉により、木々・草花・野菜が実をつけ作物が実ります。

その実を食べに野鳥が集まります。
実の季節が過ぎれば、野鳥は害虫も捕食して、健全な生態系を再生する手助けをしてくれます。

周辺に緑や草花が増えていきます。

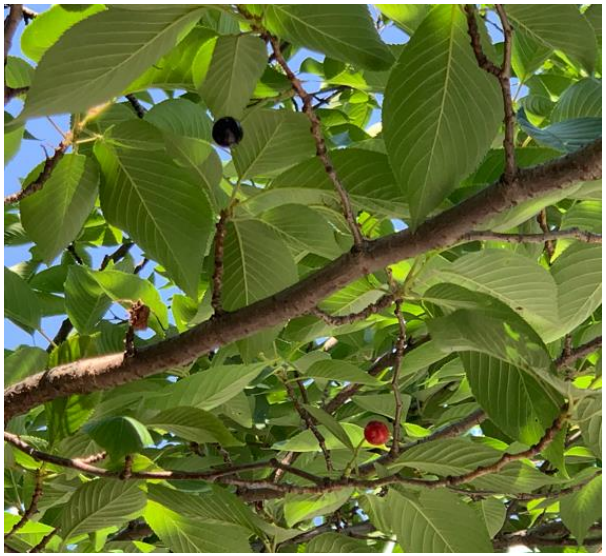
ハチミツが採れるだけでなく蜜蝋、ハチノコなど、太古から人類にとって様々な恵みを与えてくれています。

初めてのシーズンを振り返って

・この度、初めての養蜂事業ということで、当初は何が分からないかが、分からない状態からスタートしましたが、岡山県初の「都市養蜂」という事で予想をはるかに超える反響があり驚いています。

来期に向けては、先ずは養蜂の技術を磨き、今期に出来なかった「環境教育」「緑化推進」「地域振興」への取り組みを更に深化させてまいります。

来期は、もっと多くのサクランボの実がなりますように!!。



ミツバチの活動を全力でサポートし、色々な方との繋がりを大切にし、環境に優しい持続可能な社会にの実現に向け、末広がりに無限の取り組みを進めて参ります。

これからも「おかやまミツバチプロジェクト桃太郎ハニーラボ」をよろしくお願いします。

ももラボサポーターの皆さまと（2022.9.4）